

報道関係各位

2026年4月3日
第一園芸株式会社

アートコンペティション Flower Art Award 2026 in TOKYO MIDTOWN で
第一園芸のフラワーデザイナー 志村紀子がグランプリを受賞！
片山麻衣子が銀賞、黒子愛香が銅賞を各部門で受賞！
～日本代表としてフランス開催の世界大会へ～

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は3月18日（水）から22日（日）まで東京ミッドタウンで開催された Flower Art Award 2026 in TOKYO MIDTOWN に出場し、「フローリスト オブ フランスチャレンジ 2026」で志村紀子が最優秀作品賞であるグランプリを、「Flower Art Showcase Award2026」で片山麻衣子が銀賞、黒子愛香が銅賞を受賞しました。



■グランプリ受賞作『不可逆の美 The Irreversible Beauty』

アートコンペティション Flower Art Award 2026 in TOKYO MIDTOWN の「フローリスト オブ フランスチャレンジ 2026 部門」でのテーマは『METAMORPHOSIS—変身（変容・変貌・変態）』。本競技会は、フランス最高峰のフローリスト競技会「フレンチカップ」への登竜門であり、長い歴史を誇る「コンクール ピヴェルディ（CONCOURS PIVERDIE）2027」の日本代表選考会として開催されています。そのため、出場者にはコンクール ピヴェルディ本大会と同一テーマが課されました。自然界における生命の変態、あるいは象徴的な変容。そのプロセスの中から生まれる一度きりで、決して元には戻らない美を際立たせ、「変化」という概念そのものを深く探究し、作品として昇華させることが出場者に求められました。競技では限られた時間内に大型作品および構造付きブーケの2作品を制作・発表し、その表現力と完成度が審査されました。

志村紀子の作品タイトルは『不可逆の美』。本作には、次のようなメッセージが込められています。

「生命と死のあわいに生じる変化をコンセプトに、土へ還るもの、芽吹きを繰り返すものといった進化の軌跡を辿りました。不均衡な構造と、無彩色と鮮やかな色彩の緊張と共存。終焉と誕生が重なり合い、不可逆

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 広報課 谷中

Tel : 03-6404-1501 / Mail : info_pr@daiichi-engei.co.jp

に立ち上がる。そんな儂くも鮮烈な生命の美を表現しています。』
一度変化すると二度と元の状態には戻らない。時間の経過とともに失われながらも、新たな姿へと更新されていく生命の儂さと刹那的な美しさを、花と構造によって立体的に表現した作品です。

■グランプリ受賞にあたり評価されたポイント



事前に提出したデザインデッサン。
忠実に再現した作品であることがわかる。

大型作品：

- ・非常に美しいラインが構造に力強い動きを与えている。
- ・巻きの技法でテクニカル・ポイント獲得。
- ・構造と花材との間にしっかりとした繋がりがある。
- ・メッセージは良く表現されている。

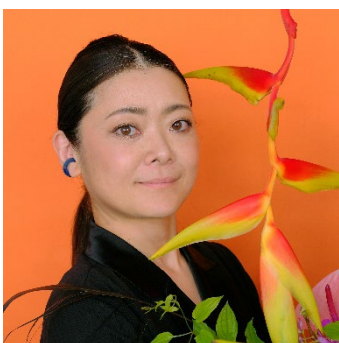
ブーケ：

- ・非常に美しい構造。花材と構造のバランスが良い。
- ・構造と花材とのしっかりした繋がりが見える素敵なブーケ。

これらがグランプリの審査にて高く評価されました。

グランプリ受賞者である第一園芸の志村紀子は、フランスで開催されるフランス CONCOURS PIVERDIE 2027 日本代表に選出されました。今後の活躍にぜひご注目ください。

■グランプリ受賞者プロフィール



志村 紀子

1995 年第一園芸入社。帝国ホテルプラザ店を経て、現在は第一園芸を代表するデザイナーとして、Noriko Shimura ブランドをオンラインショップに展開。
国内を代表するホテル、外資系大手ラグジュアリーホテルのウェディングやパーティー装花、ラグジュアリーブランドの装花などに携わる他、対外的なワークショップ講師、各種商品提案、空間装飾のデザインなどを担当している。

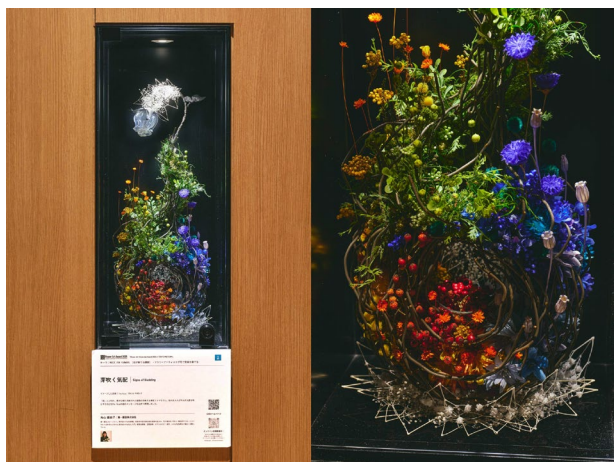
■Flower Art Showcase Award 2026 in TOKYO MIDTOWN では銀賞、銅賞を受賞！

「Flower Art Showcase Award 2026 in TOKYO MIDTOWN 部門」は、ショーケースという限られた空間の中で、意欲あるフラワーアーティストが自由な表現を通して作品を発表するアートコンペティションです。

この舞台に、第一園芸から片山麻衣子、黒子愛香、尾崎真弓、下村由香の4名が出場し、審査委員賞として片山麻衣子が銀賞、黒子愛香が銅賞を受賞しました。

第一園芸では、トップレベルの競技会への挑戦に加え、次世代を担うフローリストが国内外へと視野を広げ、表現の場を広げていくことを重視しています。

今回4名が本アワードに出場し、複数のフローリストが受賞に至ったことは、花を通じた多様な表現への挑戦と、人材育成の着実な広がりを示すものとなりました。今後も第一園芸は、一人ひとりのフローリストの挑戦を後押ししていきます。



【銀賞受賞作品】

片山麻衣子

作品名 芽吹く気配



【銅賞受賞作品】

黒子愛香

作品名 月の光、音が結晶するとき



尾崎 真弓

作品名 愛と平和



下村 由香

作品名 蒼天～Colorful Bliss カラフルな至福

※本作品を含む Flower Art Showcase Award 2026 in TOKYO MIDTOWN の全ての作品はパブリックアートとして6月まで展示され、より多くの鑑賞者の評価を反映するため、SNSを通じたオーディエンス投票を5月中旬まで実施しています。審査委員による評価75%、さらに審査委員賞上位作品にはボーナス加点、そしてオーディエンス評価25%を合わせ、総合グランプリは5月25日に発表予定です。

■Flower Art Award 2026 in TOKYO MIDTOWN とは

革新的なアイデアで豊かな社会や、よりよい明日を創造する気鋭のフラワークリエイターを発見・支援し国際舞台へ送り出すことを目的に 2000 年に創設されたアートコンペティション。2010 年より東京ミッドタウンを舞台に開催されています。<https://www.flowerartaward.com/>

■第一園芸の人材育成について

第一園芸では、社内教育機関「第一園芸アカデミー」を通じて、フローリスト一人ひとりの技術力と表現力の向上に取り組んでいます。

基礎技術の習得から応用・創作力の強化まで、段階的な教育体制を整えるとともに、国内外のコンペティションへの積極的な挑戦を推奨しています。

こうした取り組みを通じて、花と緑のプロフェッショナルとしての総合力を高め、第一園芸は花き業界のトップランナーであり続けます。

第一園芸アカデミーについてのニュースレターはこちらから

<https://www.daiichi-engei.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/0ce9d3711ec438b3b8f28fc1f11ccf4e.pdf>

■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業 128 年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号 三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898 年（設立 1951 年）

資本金：4 億 8 千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

HP：<https://www.daiichi-engei.jp/>

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/daiichiengei/>

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>